

第23回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和7年2月25日(火)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：岡田委員、各務委員、松本委員、近藤委員、稲葉委員、森本委員、
内記委員、水野(豊)委員、加藤(裕)委員、前田委員、加知委員、
加藤(智)委員、山本委員、東山委員

子ども支援課：山崎、富田

事務局：教育長、副教育長

教育推進課：丹羽、南谷、加納(裕)、福岡

教育総務課：市川、高田、瀬瀬

教育研究所：前田

教育相談室：古川

【欠席者】

(要点筆記)

開会	
会長	・第23回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・本日はお忙しい中第23回目の研究会にお越しいただき誠にありがとうございます。本日の資料にあるとおり、校歌や制服が決まりつつあり、小学校の部と中学校の部で時間割のずれをどのように調整するのか等を決めたりと、具体的な話を最終的に詰める段階に来ています。開校が近づいているのを実感しているところです。本日の報告でも忌憚のないご意見をお伺いできればと思います。委員の皆様も新聞等でご確認いただいたとは思いますが、笠原中学校閉校後の、跡地利用として、この敷地に中京学院大学様が進出したいということで、市と中京学院大学様との間に協定が結ばれました。跡地に進出をするということを前提に、これから協力して様々なことを検討していくといった内容の協定です。一つお話しさせていただきたいのは、以前の研究会で笠原中学校の跡地はどう利用していくのかというご質問いただきました。その際、委員の皆様とも協力しながら検討していきますといったような内容の返答をさせていただいております。実はその時にはこの話は水面下で進んでいました。なぜその時に言えなかったのかといいますと、中津川市と瑞浪市に中京学院大学様キャンパスがございますが、多治見市に進出するという話が表に出てしまうと、様々な機関への影響が想定されます。そのためトップシークレットとして検討が進められてきました。ただ、この話は

多治見市にとっても大きなインパクトのあることで、笠原の皆様方にとっても地元のあり様が変わるくらいのニュースだと思います。我々も進めてきた中で、笠原にとって、多治見市にとって大きなプラスになるだろうという判断の中で検討を進めてきたところであります。中京学院大学様としては、多治見に移転後、現在700人程度の学生がいるのを1000人規模の学校にしていきたいとお考えのようです。1000人規模となると恐らく半分程が下宿で、半分が通いの学生になると思います。いずれにしても大きなインパクトのあることだと思います。今の段階としてはこれから多治見に進出をしたい、それを市と協力して行うということが決まったのみのため、今後具体的にどのような協力ができるのか、どのようにまちづくりに寄与していくのかを検討していく段階です。その際には必ず、笠原の皆様の意見を伺いながら、笠原にとってよい大学にしていきたいと思います。現在、跡地利用に関しては、中学校の校舎、体育館は残しリニューアルして使用していき、一部増築するという構想となっています。目標としては令和9年4月の開学を目指すということでしたが、令和9年の段階では一部の学生が通い、その後1、2年をかけて全部を移転していくことも案としてあるようです。また、学校にとって、教育にとって良い影響がある点としては、中京学院大学様は部活動に力を入れている大学のため、例えば現在部活動の地域移行の話が上がっていますが、地域で何かスポーツクラブを立ち上げていくということもあるのかと思います。そして、いわゆる知識の専門家である教授の方々もいますので、何らかの形で教育に良い影響を与えるのではないかと考えています。改めまして、今後は様々な形で笠原の皆様にも意見を伺いながら、様々なことを検討していきたいと思います。その際には、是非ご協力のほどお願いいたします。前置きが長くなりましたが、今年度最後の研究会となります。どうぞよろしくお願いいたします。

次第2 現在の検討状況について

会長	・ 次第2「現在の検討状況」について事務局に説明を求めます。 (各ワーキンググループ検討状況について報告・説明)
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 9年間の学年の区切りについては、決まったのか伺いたいです。
笠中校長	・ 現段階ではその点については主眼を置かず、日常生活を大事にする考え方で動いており、当初考えていた9年間を3つに分ける4-3-2で考えていますが、どのような区切りが良いのかという検討は今後の課題だと思っています。
委員	・ 後期課程の先生が教科担任として、前期課程の児童に授業をおこなうということですが、どの学年から行われるのか伺いたいです。
事務局	・ 先ずは、5年生から上を中心にしてやっていこうと考えています。
委員	・ 小、中の乗り入れで先生の持ち時間数や仕事を増やしてしまうという

	ことに関して今後の課題として考えていかないといけないのかなと思います。
委員	・児童会、生徒会についてですが、令和6年度3月に4年生から8年生で選挙をして、来年度からは小、中一緒になり、生徒会等活動していくということでよろしいでしょうか。
笠原校長	・はい。選挙に関しては選ぶのが難しいということが分かってきたのでやり方を変えていこうと考えています。委員会については、来年度は6つの委員会で、小、中学校同じ活動を行っていきます。
委員	・コミュニティスクールはどのようなものか伺いたいです
事務局	・簡単な説明とはなりますがコミュニティスクールの説明をさせていただきます。地域の皆様と協力していきながら、学校経営をしていく、逆に学校も地域の皆様のために協力していく、お互いに地域と学校が手を取り合って地域で子どもを育ててく、地域活性化、学校活性化を協力してやっていくというものになります。現在笠原小・中はそのような活動を盛んに行っており、学校と地域の皆様も関係も良好なため、それを継続していくことになるのかなと考えています。
委員	・笠原では8月の第1土曜日に「いこまい祭り」を行っています。最近小・中学校の方々がたくさん参加されています。昨年、地域の方が小学校の休憩時間を借りて盆踊りの練習をするなどして更に盛り上がっています。今年、実行委員会でも、中学生の練習もお願いしたいということで話し合っておりますが、こういったことも含まれるのですか。
事務局	・はい。地域の活動ですので含まれると考えています。来年度コミュニティスクールがスタートしていく中で話題にしていいただければと思います。
委員	・併せて、昨今災害等のニュースが多くあるのを受け、「オール笠原」という組織で、笠原防災ボランティアを立ち上げるという話があります。小・中学校の児童生徒の方々も一緒になって、防災の周知をしていければと考えています。コミュニティスクールの方でも気にしていただけるとありがたいです。
委員	・通知表のことについてですが、これからは評価規準が前期課程、後期課程で一緒になるのか、異なる場合どの学年で変わるのかを伺いたいです。
事務局	・基本的に今の通知表を変えないと考えています。1年生から6年生までは今までどおり◎、○、△、後期課程になると5段階評価で成績を付けると考えています。
委員	・年度途中で転入や転出してきた場合の指導要録は支障がないか伺いたいです。
事務局	・指導要録については、前期課程、後期課程で分けるため、転出入があっても遺漏がないと考えています。

委員	・ 前期課程は決まった服装はあるか伺いたいです。
笠小校長	・ 体操服は白シャツであればよく、校章や名前が刺繍してあるものを使用しなければいけないということはないです。ズボンは様々なものが混在しています。白い体操服については、学年が上がっていけば後期課程向けのポロシャツを着るようなこともあると思います。ズボンについては、ゆくゆくは同じものにしていきたいと考えています。
委員	・ 今年、中学生の体育祭等を観たときに帽子をかぶっている人がいませんでした。熱中症対策として、小学生の赤白帽子のように学校指定のものがあればかぶりやすいと思います。小中合同で体育祭をやるとなると、前期課程の子どもは帽子をかぶっているけど、後期課程の子どもはかぶっていないという形になります。後期課程の方でも指定の帽子を考えたりはしないのでしょうか。
笠中校長	・ 特に指定のものは考えていません。学校としては、子どもたちに登下校中等、暑ければ被りましょうと言っており帽子も若干名いますが、日傘の子どもが多いです。運動会、体育祭の時期は10月となり気候的には大丈夫かと思います。体育の授業で1日中外にいる教員にも、帽子を被るようにしてくださいと、こちらとしても伝えているのですが、現在の状況なので難しいのかなと思います。
委員	・ 通学路についてですが、例えば狭い道には路側帯にグリーンの色を塗る等の、効果がありそうなものを施しておくというのを検討していただきたいと思います。
事務局	・ 年に1回通学路安全点検を行う中で、道路の専門家の立場からガードパイプの設置やグリーンの塗装の必要性を確認する等、その場で安全点検しています。例えば、改修したけれど、気になるような箇所があるようでしたら、学校を通してあげていただければ、年に1回ですが再度点検をすることができます。緊急の場合は緊急で招集することもできます。何か気になる箇所があれば、他の地区のようにPTAなどの場面で、地域の皆様の意見を吸い上げさせていただき、反映するようにしておりますので、どんどん意見を伝えていただければと思います。
委員	・ 新校舎へ上がっていく坂の所には車道と歩道を分けるのはガードレールをつけるだけなのでしょうか。雪等でスリップすることもありうるのではとても怖いと思います。歩道の部分を車道より一段上げるなどの対策はできないのでしょうか。
事務局	・ 所管は道路河川課となるため詳細は不明ですが、一段上げる部分に家が張り付いている場合、段差になってしまい歩道もスロープのように上げ下げの状態となります。一般的にマウントアップというのですが、今はそこに家はありませんが、個人の土地があるため、何か段差があると切り下げをしなければいけなく、また現在は段差解消の流れのため一段上げる工事はしていないのではないかと思います。今回取り付けるガー

	ドパイプも安全であると考えていると聞いています。また、道路河川課の方にも詳細を確認したいと思います。
委員	・幼稚園と保育園のPTAの擦り合わせはいつごろから行われるか伺いたいです。
子ども支援	・育友会同士の連絡協議会は何度かやっており、擦り合わせを順次行っています。子ども園のあり方プロジェクトというものを子ども支援課で行っており、子ども園にする時の年間スケジュール案が昨年終わりに固まりつつあり、来年度早々に示させていただきたいと考えています。
委員	・笠原小中学校の建設の進捗を伺いたいです。
事務局	・現在、1階の床と2階の壁までができており、2階の床をつくっています。進捗状況としては17%です。数字を聞くと少ないように聞こえますが、最初は低い数字から動いていき、途中からぐっと上がっていく工事ですので、計画通りとなっています。
委員	・現在、交流センターの臨時駐車場に資源回収の回収ボックスを設置していますが、それを令和8年には保育園の裏に土地を設けると聞いていますが、その話はどうなっているか伺いたいです。
子ども支援	・いったん持ち帰り、確認させていただければと思います。
笠中校長	・開校後も資源回収は行うことを考えておらず、笠原小中学校の方に回収ボックスを作る予定ではありますので、そちらに持ってくることもできると思います。
委員	・学校終わりに保護者の方が回収ボックスに入れる、町民の方は町の中心の回収ボックスに入れるというようにしたら、それぞれが入れやすくなるのではないかと思います。

次第3 笠原小中学校校歌（作曲）について

会長	・ 次第3 「笠原小中学校校歌（作曲）」について事務局に説明を求めます。
会長	（事務局より説明）
委員	（作曲披露）
子ども支援	・ こども園の方でも園歌を作成しております。作詞につきましては、笠原小学校長を最後に退職されました鈴木稔朗先生に、作曲を小中学校の校歌同様、加納徳子様にご依頼させていただいております。作詞はもうすぐできあがってくるかなと思います。作曲は作詞出来次第4月頃依頼させていただければと考えております。
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。 （特になし）

次第4 その他について

会長	・ 次第4 「その他」について事務局に説明を求めます。
----	-----------------------------

委員	・（事務局説明）
会長	・ 次回開催：委員交代後、事務局より連絡
委員	・ 全体で何か質問はございますか。
事務局	・ 校旗を新しくつくるのですよね。
	・ 校旗につきましては、来年度進めていきたいと考えています。昨年度決めましたデザインをもとに作成、発注していきたいと思います。

副教育長挨拶

会長 副教育長	・最後に、副教育長よりご挨拶を願います。 ・皆様本日もありがとうございました。新しい校舎の歩道登り口に関しては事務局から担当課に確認をし、次回報告させていただければと思います。回収ボックスの件も同様かなと思います。具体的なことが動き出しており、本日も深く掘り下げていくような意見をたくさんいただけたと思います。いよいよ開校に向け、残り1年駆け抜けるように皆で準備をしていくのだろうと感じました。令和8年4月に万全なスタートを切ろうと思ったとき、本日のような内容が令和7年度も続いていくと思います。これから細かなことも含め、きっとバタバタと進んでいくと思います。ただ、この研究会で23回に渡り協議してきたことで、学校が向かっていく方向はずいぶん定まっているため、それに比べれば、細かなことを決めるのにバタバタとなっても良いと思います。でもどんな学校にしていきたいのか、どんな子どもをここで育てていきたいのかが1番大事なところであり、そこはブレないようにこれからも進めていければと思います。来年度には委員を交代される皆様、1年間ありがとうございました。長い歴史に関わっていただいたことに感謝申し上げます。またこれからも引き続きお務めるいただく委員の皆様は、来年もよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。
------------	--

閉会

会長	・ 以上で、第23回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。
----	------------------------------------

—以上—